

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 沖縄県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	北部病院	2
-	中部病院	3
-	南部医療センター・こども医療センター	4
-	宮古病院	5
-	八重山病院	6
-	精和病院	7
沖縄県離島医療組合	久米島病院	8

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	沖縄県
				市町村・組合名	
				病院名	北部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,273 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災地		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	325	75.1	70.6	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	327	74.7	70.2	68.7
平均在院日数（一般病床のみ）		14.1	13.5	13.9

設立団体の状況		
人口（人）	1,433,566	
決算規模（千円）	702,045,339	
標準財政規模（千円）	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.4
	将来負担比率（%）	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.9
修正医業収支金額（千円）	5,658,928

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,597,123			
1 経常収益	6,577,791			
(1) 医業収益	5,796,237			
入院収益	4,399,103			
外来収益	1,188,274			
診療収入計	5,587,377			
その他医業収益	208,860			
(うち他会計負担金)	137,309			
(2) 医業外収益	781,554			
(うち国・都道府県補助金)	32,045			
(うち他会計補助・負担金)	541,816			
(うち長期前受金戻入)	154,947			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,332			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,713,242			
2 経常費用	6,681,440			
(1) 医業費用	6,508,457			
職員給与費	4,398,161	75.9	56.0	57.1
材料費	983,065	17.0	24.1	23.9
(うち薬品費)	368,694	6.4	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	557,207	9.6	11.1	11.4
減価償却費	192,942	3.3	9.2	9.5
経費	903,967	15.6	23.2	22.0
(うち委託料)	483,433	8.3	11.3	10.8
研究研修費	22,706			
資産減耗費	7,616			
(2) 医業外費用	172,983			
(うち支払利息)	15,715	0.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	31,802			
損益				
経常損益	-103,649			
純損益	-116,119			
累積欠損金	3,118,267			
経常収支比率	98.4		98.2	96.7
医業収支比率	89.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	88.3		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金（ ）	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,073,522
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	553,603	679,125
資本勘定繰入	179,868	183,933
計	733,471	863,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	19.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	沖縄県
				市町村・組合名	
				病院名	中部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,361 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	41	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	555	90.8	95.9	96.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	559	90.2	95.2	96.1
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	12.2	12.7

設立団体の状況		
人口（人）	1,433,566	
決算規模（千円）	702,045,339	
標準財政規模（千円）	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.4
	将来負担比率（%）	45.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,449,925			
1 経常収益	17,366,868			
(1) 医業収益	15,735,857			
入院収益	11,635,260			
外来収益	3,452,018			
診療収入計	15,087,278			
その他医業収益	648,579			
(うち他会計負担金)	463,645			
(2) 医業外収益	1,631,011			
(うち国・都道府県補助金)	63,408			
(うち他会計補助・負担金)	669,582			
(うち長期前受金戻入)	508,619			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	83,057			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,657,594			
2 経常費用	17,624,535			
(1) 医業費用	16,972,626			
職員給与費	9,761,782	62.0	56.0	49.8
材料費	3,544,498	22.5	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,625,554	10.3	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,801,283	11.4	11.1	12.8
減価償却費	723,198	4.6	9.2	8.3
経費	2,818,834	17.9	23.2	20.7
(うち委託料)	1,539,654	9.8	11.3	11.4
研究研修費	110,762			
資産減耗費	13,552			
(2) 医業外費用	651,909			
(うち支払利息)	101,368	0.6	1.6	1.4
(3) 特別損失	33,059			
損益				
経常損益	-257,667			
純損益	-207,669			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.5		98.2	99.5
医業収支比率	92.7		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	92.1		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金（ ）	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,073,522
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	90.0
修正医業収支金額（千円）	15,272,212

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,067,831	1,133,227
資本勘定繰入	612,807	624,303
計	1,680,638	1,757,530

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	19.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	沖縄県
				市町村・組合名	
				病院名	南部医療センター・こども医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,714 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	50	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	423	94.5	94.0	94.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	5	73.5	81.8	85.3
感染症	6	-	-	-
計	434	92.9	92.5	93.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.4	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,433,566	
決算規模(千円)	702,045,339	
標準財政規模(千円)	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	45.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,047,624			
1 経常収益	16,980,004			
(1) 医業収益	14,909,476			
入院収益	11,396,773			
外来収益	2,887,109			
診療収入計	14,283,882			
その他医業収益	625,594			
(うち他会計負担金)	518,850			
(2) 医業外収益	2,070,528			
(うち国・都道府県補助金)	126,386			
(うち他会計補助・負担金)	1,118,120			
(うち長期前受金戻入)	621,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	67,620			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,457,458			
2 経常費用	16,417,185			
(1) 医業費用	15,715,399			
職員給与費	9,368,610	62.8	56.0	54.1
材料費	3,237,763	21.7	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,327,303	8.9	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,909,444	12.8	11.1	12.3
減価償却費	809,484	5.4	9.2	8.3
経費	2,220,610	14.9	23.2	19.0
(うち委託料)	1,086,661	7.3	11.3	9.1
研究研修費	51,099			
資産減耗費	27,833			
(2) 医業外費用	701,786			
(うち支払利息)	225,433	1.5	1.6	1.5
(3) 特別損失	40,273			
損益				
経常損益	562,819			
純損益	590,166			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.4		98.2	99.3
医業収支比率	94.9		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	93.5		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金( )	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額( )	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,073,522
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収支金額(千円)	14,390,626

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,571,657	1,636,970
資本勘定繰入	640,425	650,666
計	2,212,082	2,287,636

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	沖縄県
				市町村・組合名	
				病院名	宮古病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,405 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災		
診療科数	24	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	79.1	83.6	79.7
療養	-	-	-	-
結核	3	55.4	12.4	15.8
精神	49	73.4	79.2	79.0
感染症	3	-	-	-
計	305	77.2	81.4	78.2
平均在院日数（一般病床のみ）		13.2	17.3	13.8

設立団体の状況		
人口（人）	1,433,566	
決算規模（千円）	702,045,339	
標準財政規模（千円）	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.4
	将来負担比率（%）	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.4
修正医業収支金額（千円）	5,298,017

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,836,647			
1 経常収益	6,801,097			
(1) 医業収益	5,476,206			
入院収益	3,721,881			
外来収益	1,469,364			
診療収入計	5,191,245			
その他医業収益	284,961			
(うち他会計負担金)	178,189			
(2) 医業外収益	1,324,891			
(うち国・都道府県補助金)	24,886			
(うち他会計補助・負担金)	921,181			
(うち長期前受金戻入)	322,976			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,550			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,759,156			
2 経常費用	6,749,913			
(1) 医業費用	6,510,871			
職員給与費	3,912,767	71.5	56.0	57.1
材料費	1,110,133	20.3	24.1	23.9
(うち薬品費)	479,528	8.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	573,578	10.5	11.1	11.4
減価償却費	463,974	8.5	9.2	9.5
経費	991,758	18.1	23.2	22.0
(うち委託料)	573,026	10.5	11.3	10.8
研究研修費	29,540			
資産減耗費	2,699			
(2) 医業外費用	239,042			
(うち支払利息)	66,549	1.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	9,243			
損益				
経常損益	51,184			
純損益	77,491			
累積欠損金	7,869,335			
経常収支比率	100.8		98.2	96.7
医業収支比率	84.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	84.5		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金（ ）	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,073,522
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	859,733	1,099,370
資本勘定繰入	95,271	96,688
計	955,004	1,196,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	19.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)				都道府県名	沖縄県
				市町村・組合名	
				病院名	八重山病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,480 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災		
診療科数	24	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	255	67.1	67.2	66.2
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	38	33.0	33.5	39.8
感染症	3	-	-	-
計	302	60.6	60.7	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.7	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,433,566	
決算規模(千円)	702,045,339	
標準財政規模(千円)	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.6
修正医業収支金額(千円)	4,514,843

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,853,124			
1 経常収益	5,844,517			
(1) 医業収益	4,666,765			
入院収益	3,057,609			
外来収益	1,329,165			
診療収入計	4,386,774			
その他医業収益	279,991			
(うち他会計負担金)	151,922			
(2) 医業外収益	1,177,752			
(うち国・都道府県補助金)	18,750			
(うち他会計補助・負担金)	887,302			
(うち長期前受金戻入)	232,283			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,607			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,508,006			
2 経常費用	6,389,650			
(1) 医業費用	6,134,442			
職員給与費	3,692,575	79.1	56.0	57.1
材料費	930,578	19.9	24.1	23.9
(うち薬品費)	373,102	8.0	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	512,280	11.0	11.1	11.4
減価償却費	249,456	5.3	9.2	9.5
経費	1,220,409	26.2	23.2	22.0
(うち委託料)	704,596	15.1	11.3	10.8
研究研修費	26,452			
資産減耗費	14,972			
(2) 医業外費用	255,208			
(うち支払利息)	65,752	1.4	1.6	1.6
(3) 特別損失	118,356			
損益				
経常損益	-545,133			
純損益	-654,882			
累積欠損金	2,066,913			
経常収支比率	91.5		98.2	96.7
医業収支比率	76.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	75.2		86.0	85.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金( )	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額( )	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,073,522
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	699,649	1,039,224
資本勘定繰入	98,385	355,263
計	798,034	1,394,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	沖縄県	
		市町村・組合名		
		病院名	精和病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	10,196 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨	
診療科数	5	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	246	75.9	80.0	86.2
感染症	-	-	-	-
計	250	74.6	78.7	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,433,566	
決算規模(千円)	702,045,339	
標準財政規模(千円)	378,095,892	
財政力指数	0.35628	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	45.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.1
修正医業収支金額(千円)	1,475,937

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,188,563			
1 経常収益	2,185,730			
(1) 医業収益	1,475,937			
入院収益	1,084,315			
外来収益	377,637			
診療収入計	1,461,952			
その他医業収益	13,985			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	709,793			
(うち国・都道府県補助金)	55			
(うち他会計補助・負担金)	642,613			
(うち長期前受金戻入)	57,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,833			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,355,795			
2 経常費用	2,352,471			
(1) 医業費用	2,302,594			
職員給与費	1,719,242	116.5	56.0	96.0
材料費	251,596	17.0	24.1	8.6
(うち薬品費)	188,889	12.8	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,443	0.7	11.1	1.0
減価償却費	70,940	4.8	9.2	12.5
経費	255,052	17.3	23.2	34.0
(うち委託料)	100,061	6.8	11.3	16.5
研究研修費	5,050			
資産減耗費	714			
(2) 医業外費用	49,877			
(うち支払利息)	7,192	0.5	1.6	3.2
(3) 特別損失	3,324			
損益				
経常損益	-166,741			
純損益	-167,232			
累積欠損金	2,372,676			
経常収支比率	92.9		98.2	100.0
医業収支比率	64.1		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.4		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	43.5		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	29.4		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	65.6		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,618,877
1 固定資産	46,176,849
(1) 有形固定資産	44,813,877
(2) 無形固定資産	12,604
(3) 投資その他の資産	1,350,368
2 流動資産	14,442,028
(1) 現金及び預金	3,210,091
(2) 未収金及び未収収益	11,483,026
(3) 貸倒引当金( )	1,014,892
(4) 貯蔵品	756,126
3 繰延資産	-
負債合計	61,692,399
1 固定負債	37,098,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,010,164
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	800,000
(6) 引当金	4,168,389
(7) リース債務	120,302
2 流動負債	9,242,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,650,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,645,342
(6) リース債務	33,033
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,460,837
(9) 前受金及び前受収益	8,718
3 繰延収益	15,350,725
(1) 長期前受金	49,418,270
(2) 長期前受金収益化累計額( )	34,067,545
資本合計	-1,073,522
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-2,952,107
(1) 資本金剰余金	6,374,072
(2) 利益剰余金	-9,326,179
負債・資本合計	60,618,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,073,522
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	639,061	642,613
資本勘定繰入	35,246	35,246
計	674,307	677,859

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	沖縄県
	市町村・組合名	沖縄県離島医療組合
	病院名	久米島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,481 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	58.5	63.5	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	58.5	63.5	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.4	14.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	330,850			
1 経常収益	330,848			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	330,848			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	255,451			
(うち長期前受金戻入)	75,397			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	335,740			
2 経常費用	335,740			
(1) 医業費用	308,817			
職員給与費	20,352	-	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	77,212	-	9.2	13.4
経費	211,235	-	23.2	47.5
(うち委託料)	1,693	-	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	18			
(2) 医業外費用	26,923			
(うち支払利息)	17,072	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-4,892			
純損益	-4,890			
累積欠損金	448,830			
経常収支比率	98.5		98.2	96.3
医業収支比率	-		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	77.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	77.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	22.5		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,374,299
1 固定資産	1,272,404
(1) 有形固定資産	1,269,464
(2) 無形固定資産	779
(3) 投資その他の資産	2,161
2 流動資産	101,895
(1) 現金及び預金	101,111
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,615,118
1 固定負債	904,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	895,070
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	9,121
(7) リース債務	-
2 流動負債	27,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,920
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	683,817
(1) 長期前受金	759,214
(2) 長期前受金収益化累計額( )	75,397
資本合計	-240,819
1 資本金	14,138
2 剰余金	-254,957
(1) 資本金剰余金	193,873
(2) 利益剰余金	-448,830
負債・資本合計	1,374,299
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	240,819
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,760	255,451
資本勘定繰入	65,530	131,986
計	315,290	387,437

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。